

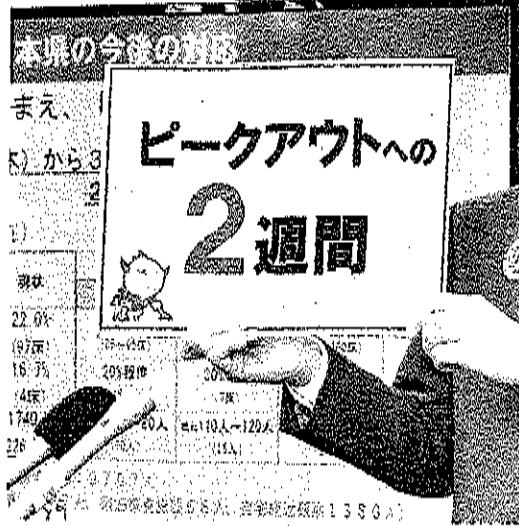
県コロナ警報延長

来月6日まで、対策徹底を



埼玉県

ピーカウトへの
2週間



県は十八日、二十日までの予定で発令中だった新型コロナウイルス感染拡大警報を二月六日まで延長すると発表した。杉本達治知事が県庁で臨時会見し、新規感染者数が高止まりしている中、感染第六波を収束へ向かわせる「ピーカウトへの二週間」と説明。感染が目立つ高齢者や子どもがいる家庭では、家族間でもマスク着用するなどの対策を徹底するよう呼び掛けた。〔新型コロナ関連245392面、論説10面〕

(浅井貴司)

杉本知事は、十二日時点の入院患者のうち、四分の三が六十五歳以上の高齢者だった点を強調。家族内の感染が多いとの集計も踏まえ、高齢者に「身を守る行動を。自分の部屋から出る時はマスクを着けて」と求めた。ワクチン接種も重要として、福井市と敦賀市

に設ける県の大規模接種会場で、二十七日から、接種券を持つ六十五歳以上の人口を対象に、予約なしで二回目接種をすると発表した。

子どもの感染対策では、未就学児のマスク着用は難しいと指摘しつつ、周りの大人がマスクをするだけでは、

も予防効果があると説明した。保育施設では、早朝や夕方の遅い時間帯に、普段のクラスが違う子どもたちが一力所に集まって保育を受ける状況を警戒。保護者が施設の態勢が整っている時間帯に子どもを送迎できるよう、企業に勤務時間への配慮を求める。

県内学校でのPCR検査

感染者出た学級に教わる

極力休校しない方針

県内の小中学校と高校で児童生徒が新型コロナウイルスに感染してもなるべく休校せずに学ぶ機会を確保しようと、県は十日から、PCR検査の対象を変更し、学校全体から感染者が在籍するクラスのみとした。休みの対象を絞り、学級閉鎖とするなどで保護者の負担軽減につなげる。杉本達治知事が十八日の臨時会見で明らかにした。

(波多野智司)

感染者の活動範囲によつては、検査が他のクラスや部活動に広がる場合もあるが、休校は極力しない方針。

また、従来株より潜伏期間が短いオミクロン株の特性を踏まえ、検査方法も変更した。従来は感染者が出た当日と、その五日後に検

1日	自	目	陽性判明
2日	自	目	検査実施連絡
3日	自	目	検体採取
4日	自	目	結果判明・連絡
5日	自	目	学級再開
6日	自	目	
7日	自	目	

学校でのPCR検査の流れ

(市)デルケース

卒業式シーズンを控えて検査をしていた。変更後のモードルケースでは、感染者が出てから二日後に検査し、六日後をめどに学級を再開する。感染者が出た当日の

検査は精度が低く、児童生徒の負担になるため実施しない。

検査方法の変更を周知するため、対象となった児童生徒の保護者には検査の流れや注意事項を書いたチラシを配布する。